

地域づくり提案事業 成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 20年度

市町村名	秩父市				
提案事業名	花と文化を生かした観光誘客促進事業				
事業期間	19年度 ～ 21年度				
成果指標	(成果を検証する指標) 入込み観光客数				
	(成果検証の具体的な方法) 観光入込み客数として、県等に報告するほか、統計として公表している数値の算定方法を使用する。				
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	Ⓐ Ⓑ Ⓒ
	従前値 (17年時点)	3,891千人	目標値 (20年時点)	4,000千人	実績値 (19年時点) 3,996千人 (H19年実績値。H20年は集計中であるが札所総開帳などがあったため、目標値は上回ると考える)
	(施設建設等の場合の実績)				
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		市のホームページにおいて成果指標を住民に公表します。			

【事業効果の整理・原因分析】

平成19年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 芝桜まつり開催事業	○	(芝桜まつり実行委員会へ委託) 中心市街地で伝統芸能の上演をはじめとするイベントを催し、また「まちなか無料バス」を運行することにより、観光客を芝桜の丘から市内全体へと“まちなか回遊”策を図った結果、市内が賑わいをみせた。
② 和銅遺跡周辺整備事業	○	和銅遺跡周辺に案内板や道標を設置するとともに、平成20年の和銅奉獻1300年記念事業を実施。歴史的遺産を見学できる観光スポットとしてPRし観光客の増加を図ることが出来た。
③ 江戸巡礼古道整備事業	○	平成20年の「日本百番観音報恩総開帳」に合わせて、札所1番から34番までを歩いて巡る「江戸巡礼古道」を復興・整備し、札所巡礼者をはじめ、リピーターの増加を図ることが出来た。
④ 花街道景観整備事業	△	平成23年に供用開始予定の皆野秩父バイパス・小柱インターチェンジから秩父市内（小柱～太田～吉田方面）への道路脇の民地と歩道を利用しハナミズキを植樹し、花街道として秩父市の新しい玄関口とするため整備した。
⑤ 秩父舞祭り開催事業	○	(秩父青年会議所への補助) 中心市街地活性化と観光誘客を目的として、秩父神社周辺のダンスステージ会場において、各チームがそれぞれの踊りを繰り広げるダンスイベント「秩父舞祭り」を開催し、従来よりも早く県内外からの参加を呼びかけ、参加者数（誘客者数）の増加を図るなど周知に努めたことにより、当日は多くの人で賑わった。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	秩父の自然“花”と歴史文化を活かした事業を行うことにより、観光客に秩父の魅力を認知してもらうとともに、リピーターの獲得をすることが出来た。特に芝桜まつりにおいては、GW期間中の人出が2年連続全国ベスト10入りするなど（H19年第10位、H20年第9位）多くの方に訪れていただくことが出来た。
実施事業について 成果が不十分である点	花街道景観整備事業については、当初平成20年に供用が開始される予定であった皆野寄居バイパスの小柱インターチェンジまでの区間の完成が平成23年に延びたため、その影響から当初見込んでいた交通量と比べ、あまり増加していないと思われる。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	今後もこれらの各観光スポットやイベントをホームページやキャンペーンなどを通じて積極的にPRしていくとともに、あわせて他の市内の観光モデルコースを提案するなど年間を通して観光客の誘致を図っていく。